



故きを温ねて、新しきを知る
～葵学園のあしあと～

葵幼稚園の廃園問題おさる

平成10年3月31日、学校法人帯広源照学園が経営してきた「葵幼稚園」が33年間の幕を下ろします。

葵幼稚園は、昭和39年に9人の園児(葵幼稚園舎)から始まり、平成2年には260人の子どもたちが通う幼稚園に成長します。しかし、その後一気に100人台の園児数に落ち込み平成9年には91人でした。

当時の理事会は、老朽化が著しく、また園庭の狭い葵幼稚園を維持していくことは例え新築しても難しいと考え平成4年に廃園を決定します。

この理事会決定を不服とする一部教職員と保護者は「廃園反対」の行動を起こします。その行動は、幼稚園規模では考えられないものでした。

学校法人帯広葵学園

理事長 上野敏郎

結論は、理事会体制を一新して再度存続に努めるのですが園児数は減少の一途をたどることになりました。

源照学園は、大空町に葵南幼稚園(昭和44年開園)を経営していました。

35人の園児数から始まり10年後の昭和55年には337人の園児数を数えたのですが、平成4年の園児数は162人です。

新しい住宅団地として始まった大空団地の造成の勢いに乗じて伸びた園児数は、新たな造成がストップに合わせて減少傾向を歯止めできなかつたのです。

以上の経過を踏まえて平成10年4月1日、廃園した葵幼稚園と葵南幼稚園を統合し、新しい園舎を造り「帯広の森幼稚園」として新たな出発をすることにしました。

子どもに必要なことは
すべて **児童憲章** の中にあります

児童憲章

第九条

すべての児童は、よい遊び場と文化財を享受し、わが環境をまもられる。

All the children are to be equipped with good play space and cultural property and are to be protected from a bad environment.



大人は、すべての子どもが、安全でよい遊び場を、文化財を享受し、わが環境をまもられる。心を通わせ、心を豊かにする。健全に育ちたいと思えば、大げさに要求しては、なりません。大人は、それを守り、それを守らなければならない。子どもを守ります。

帯広の森幼稚園の園舎



幼稚園型認定こども園

帯広の森幼稚園



幼稚園型認定こども園

つづじが丘幼稚園



保育所型認定こども園

緑陽台保育園



小規模保育所

012 青い鳥保育園



未就園児教室・ベビーダンス教室

あおいキッズハウス



児童発達支援・放課後等サービス・保育所等訪問支援

あおいとり